

育 夢



深く考える子 思いやりのある子 強くたくましい子 令和6年11月22日（金）

新しい学力観

校長 三村 文弥

11月6日、北海道教育委員会は、4月に実施した全国学力学習状況調査の管内別の平均正答率を公表しました。北海道内の地域差が拡大しており、「課題のある管内は教師主導による知識偏重の授業が散見される」と道教委は分析しています。

先日、校内研修の時間に、今年度の西小6年児童が全国学力学習状況調査で苦手にしていた問題に先生方にもチャレンジしてもらいました。漢字や小数の割り算など知識・技能に課題があることは結果からわかっていたのですが、学力調査の問題の傾向や出題の趣旨を知り、子供達が何につまずいているかを分析して今後の指導の一助にしていきたいと思います。

右の問題・その1は、学校のよさを伝える文章を書く場面を設定した国語の問題文です。保護者のみなさんも経験していると思いますが、国語のテストと言えば、物語や説明文などの長文を読み取り、設問の答えを問題文から見つけて書き抜くというのがよくある形でした。全国学力学習状況調査でも、数ページにわたる問題文で「読む体力」を問われるような問題がよく出題されてきました。しかし、今回子供達が苦労したのは、長文を読解するのではなく、集めた情報を分類・整理した図やメモから、その目的や意図を読み取り、伝えるべきことを明確にする力を問う問題です。右下の問題・その2は、メモをもとに書いた文章のまとめを60字以上100字以内で完成させる問題です。子供達は問題文のメモにある言葉を用いて書くことはできていましたが、メモにある事実から考えたことを書くことができていませんでした。問題文にあるようなシンキングツールは、総合的な学習の時間など探究的な学習活動で子供達もよく使っています。国語の時間に限らず、各教科等で行っている探究的な活動を通して感じたこと、考えられることを自分の言葉で書き表す経験を積み重ねていくことで、アウトプットする力を少しずつ鍛えていくことができます。

今年2月の北海道新聞・ぶんぶん time の欄に次のようなお悩み相談の投稿がありました。

「息子の学校での授業は、グループ活動が多いらしいです。私が中学校の頃は先生がしっかり教えてくれる一斉授業ばかりだったので、はたしてグループ同士で話し合っただけで学力がつくのかどうか心配です。（略）」

この投稿に同意する保護者のみなさんも多いのではないかと思います。冒頭紹介した道教委の見解とは真逆になっていることにお気づきでしょうか。「先生がしっかり教えてくれる一斉授業」では、学力調査で課題が見られるというのが、今回の道教委の分析です。「学力観」が今と昔では大きく異なっているため、このような相違が起きてしまいます。これまでは、正解を暗記したり、問題の解き方を確実に覚えたりすることが、「学力」であると捉えられてきました。今はものの見方や考え方を身につけ、いろいろな人と考えを伝え合ったり、聞き合ったりしながら、「最適解」を求めていく「学力」が重視されています。正解がない問題、未知の課題に主体的・協働的に取り組める力が求められています。普段の授業の中で、ICTを活用して黙々と一人で課題に取り組んだり、グループでわいわいと話し合ったり教え合ったりして活動したりするのも、こうした新しい「学力」を身につけるためのものです。

では、知識や技能は重要ではないかという、そうではありません。身につけた知識・技能を普段から活用して、必要な情報を集める力やものの見方・考え方を醸成していくことが大切です。ベースになるのは知識・技能であり、「読み書き・計算」は今も変わらず大切です。「基礎基本」と「学び方」をバランスよく身につけていく必要があります。

【子供達が苦労した問題・その1】

高山さんのメモ

高山さんの考え

「たてわり遊び」と「運動会」は、どちらも1年生から6年生まで同じ「たてわりはん」で活動して、みんなが仲良くになる。これが学校の一番のよさだと思うから、文章に書く。

高山さん

【子供達が苦労した問題・その2】

高山さんの文章

みんな仲良く「たてわりはん」
わたしたちの学校には、1年生から6年生までのメンバーが、同じく活動する「たてわりはん」の取り組みがあります。「運動会」や「たてわり遊び」を通して、ちがう学年の人も仲良くになります。

「運動会」は、「たてわりはん」ごとに赤、青、黄の色を決め、3色対決で行います。上級生が下級生に伝えたの位置を取ったり、下級生も楽しむように、やさしい声かけを聞かれます。「みんなであそびをしよう」という2年生が、「上級生といっしょに楽しんで熱い気持ちになる」という5年生がいます。このように、「運動会」のよいところは、みんなの心一つになるところだと思います。

「たてわり遊び」は、毎月1回、休み時間に「たてわりはん」で遊ぶ活動です。みんなが楽しめるように、6年生が、遊びたいことを下級生に聞いたり、ルールをくふうしたりします。例えば、ドッジボールでは、上級生が速くからボールをぶつけるようにしています。

高山さんの取材メモ

「たてわり遊び」について
6年生がくふうしていること
○遊びたいことを下級生に聞く
○ルールをくふうする
ドッジボールは、上級生は速くからボールをぶつける
下級生に聞いたこと
○1年生 お兄さんやお姉さんと遊んで楽しかった
○3年生 好きな遊びや新しい友達が増えた
○4年生 みんなが楽しそうだった



西興部小ブログ

学校行事の様子など西小の教育活動を写真付きで公開しています。どうぞご覧下さい。

ブログへのアクセスは左のQRコードから、次のURLからもご覧いただけます。
<https://nishiokoppesho.blogspot.com/>



参観日 (11/11、15、18)

ご多用の中、たくさんの保護者の皆様に子どもたちが一生懸命に学習に取り組む姿をご覧いただくことができました。ありがとうございます。子ども達は、お家の方が教室に来てくれるということで、いつもよりも少しはりきっている様子が見られました。



一輪車教室 (11/12)

興部町より一輪車クラブの岩田様をお招きし、一輪車教室を開催しました。子どもたちは、それぞれの課題を達成しようとしてしっかりと話を聞き、実技に取り組んでいました。短い時間ではありましたが一人ひとりの技術が向上し、手応えを感じることができました。



人権教室 (11/19)

近隣市町村の人権擁護委員の皆様による人権教室が開催されました。人権とは『私たちが幸せに生きるための権利であり日常生活で一番基本のルール』です。

DVD 視聴や委員の方のお話から『一人一人が大切な存在であり、お互いを思いやることが大切』『悩み事は一人で抱え込まず誰かに相談すること』について改めて考えることができました。



12月の行事予定

- 1日(日) ノーゲームデー&読書の日
- 2日(月) 全校朝会(3・4年生発表)
職員会議
- 4日(水) 体力強化の日 読み聞かせ(低)
- 5日(木) 読み聞かせ(高)
- 9日(月) 保護者面談(希望者、13日まで)
- 15日(日) ノーゲームデー&読書の日
- 17日(火) 大掃除①
- 18日(水) 大掃除② 体力強化の日
- 19日(木) 大掃除③
- 20日(金) 2学期終業式、学校アンケート×切
- 21日(土) 冬休み ~1月14日(月)まで
- 23日(月) 学習サポート①
- 24日(火) 学習サポート②



後期学校評価について

12月6日(金)にお知らせを配付し、12月20日(金)をメ切とさせていただきます。ご協力をお願いします。兄弟姉妹それぞれについてお答えいただきたいと考えます。2人通学している場合は回答が2人分ということになります。時期をあけて複数回答があった場合は最新のものを採用させていただきます。ご承知おきください。